

旭中央病院消化器内科で内視鏡的逆行性胆管膵管造影（ERCP）を受けられたことがある方へ

2016年11月16日
旭中央病院 消化器内科

旭中央病院消化器内科では、内視鏡的逆行性胆管膵管造影（ERCP）において実施されることがある金属ステント留置に関する研究を行っています。この研究は、千葉大学医学部附属病院を中心となって行われている多施設共同研究です。

本研究の内容は、以下に示す通りです。患者様におかれましては、研究の趣旨をご理解いただき、研究へのご協力をお願いいたします。

研究課題名：高齢者切除不能悪性中下部胆管閉塞症例に対する金属ステント留置に関する多施設共同後ろ向き試験

研究目的：この研究の目的は、高齢者切除不能悪性中下部胆管閉塞症例に対して行われている金属ステント留置に関する有効性・安全性を確認することです。

研究の方法：この研究は、過去にさかのぼってカルテ（診療録）を調査することにより行われます。研究の実施にともなって患者様に新たなご負担がかかることはありません。
※「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に則り、倫理審査委員会の承認を得て実施されます。

調査対象期間：2012年1月～2016年7月

調査対象：上記の調査対象期間中に、切除不能と診断された悪性中下部胆管閉塞の方で、金属ステント留置術を受けられた方。

調査内容：患者様の年齢、性別、既往歴、治療内容、経過や合併症、その他検査データなどを調査します。

個人情報の保護：調査項目に氏名や住所、診察登録カード番号等、個人を特定できる情報は含まれません。研究の結果が学会等で発表されることがありますが、その場合も個人が特定されることはありません。また、得られた情報がこの試験の目的以外に使用されることはありません。

説明と同意：この研究は患者様お一人ずつから直接のご同意は頂かずに、この掲示などによるお知らせをもってこの研究の対象となる患者様からのご同意を頂いたものとして実施させていただきます。この研究にご自分の診療情報を使用してほしくない場合や、参加取り止めを希望される場合は、旭中央病院における研究責任医師まで御連絡ください。お断りになられても、不利益が生じることは一切ございません。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。なお、患者様のデータが既に集計・解析されている場合は、取り消しができないこともありますので、ご了承ください。

お問い合わせ先：地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院 消化器内科
研究責任医師 志村謙次
電話 0479-63-8111（代表）